

非稼働病床の現況について（大阪市北部基本保健医療圏・病院）

※過去 1 年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去 1 年間病床が一度も稼働していない有床診療所（非稼働病床という）

【北部】

	医療機関名	所在区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会中津病院	北区	20床	令和 2 年度	当院は、令和5年5月以降もCovit19患者の受け入れを続けており、感染症専門病棟を1つ維持し続けている。 この病棟を維持・稼働し続けるために一つの病棟を非稼働とし、感染症病棟に人員を集中させている。	再稼働する。	令和7年度中	積極的な看護師採用活動を実施しており、施設基準を満たす事ができるよう活動を継続していく予定。 令和6年度中に安定して人員を確保し、令和7年度中には、再稼働予定である。
2	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院	北区	42床	令和元年度	西館の取壊しと建替えに伴い、病棟を閉鎖して工事個所の移転先を確保する必要があるため。	その他		病床の再開場所としては、病院内にある健診センターのスペースを利用する予定である。健診センターは西館へ移転する予定だが、西館は耐震基準を満たさない古い建物であり、利用に際しては取壊しと建替えが必要である。 現在、西館の建替えについてワーキンググループを立ち上げ、具体的な検討を重ねている段階である。病床については再稼働予定であり、西館完成予定時期と同じ2026年（令和8年）以降となる予定である。
3	大阪市立十三市民病院	淀川区	56床	令和 4 年度	新型コロナウイルス感染症重点医療機関として常時70床確保するよう大阪市から要請を受け、全体で5病棟のうち、7階病棟を含む3病棟をコロナ病棟としていたが、コロナ治療のノウハウが蓄積したことや隔離期間の短縮等により、円滑な転退院を図り、感染が拡大しても30名程度の患者数で推移したことから、令和4年10月以降、7階病棟を稼働していない。5類移行後、コロナ再拡大の状況を見つつ、一般診療を再開したが、コロナ専門病院の影響によりコロナ禍以前の患者数に戻らないとともに、7階病棟を再開できるだけの看護師が確保できず、稼働できなかった。	再稼働する。	令和7年度中	令和6年4月から新たに緩和ケア内科を新設し、令和7年4月から緩和ケア病棟の開設を目指しており、看護師についても病棟再開に向け、増員するよう採用募集を行っている。

非稼働病床の現況について（大阪市北部基本保健医療圏・診療所）

※過去 1 年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去
1 年間病床が一度も稼働していない有床診療所（非稼働病床という）

【北部】

	医療機関名	所在区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	医療法人 河野医院	北区	2床	不明	内視鏡治療時の鎮静後の安静や生物学的製剤投与後観察の為に確保している 夜間の対応が医療従事者、財政面から困難である	指定医療機関として必要であるため、現状の運用通りとし、他の目的で使用しない。		経営状態が改善した場合は夜勤の医療従事者等を確保し、稼働に向けて対応するが、時期は未定である
2	医療法人小山医院	北区	2床	平成 19 年度	本院の入院目的は急性期で転院先が決まらないとき当院にて待機、または短期入院で改善する容態の患者がないため稼働していない	その他		症例があれば稼働する
3	十三・デンタルクリニック	淀川区	2床	平成 28 年度	入院を必要とする患者がいなかったため	病棟を削減する又は無床診療所とする。	令和 7 年度中	令和 6 年末をもって廃院予定